



## アルコールと薬の飲み合わせ

お花見のシーズンがやってきました。ついつい酔いがさめないうちにお薬を服用してしまうことがありますか？今回は、アルコールと薬の飲み合わせについてお話します。お付き合いください。

### アルコールの代謝の仕組み

アルコールを飲むと、血液に取り込まれて肝臓へ運ばれ、処理されます。肝臓が処理できるアルコールの量は一般的に、体重60~70kgの人で1時間に5~9g程度です。(個人差があります！)  
5%の缶ビール350mL中には17.5gのアルコールが含まれているので、アルコールが完全に抜けるのには、2~3時間かかります。(個人差があります)  
実際、血液中のアルコール濃度を測定した実験でも同様の結果となっています。アルコールが完全に抜けるまでの時間は個人差が大きいため、

**2~3時間で必ずアルコールが抜けるわけではありません。  
また、深夜まで深酒をしてしまうと翌朝までアルコールが残ってしまいます！  
ご注意ください！**

### POINT！

アルコールは肝臓で処理されることが分かりましたね！？



### アルコールと薬の飲み合わせについてみていきましょう。

薬の多くは肝臓で処理されます。そのため、アルコールが抜けきらないうちに薬を飲んでしまうと、肝臓ではアルコールを優先して処理します。薬の処理が遅くなるため薬が体の中で必要以上の働きをしてしまいます。場合によっては、命にかかわる重篤な事態を引き起こしてしまうことがあります。

### POINT！

アルコールと薬の併用は絶対にやめましょう！

POINT！薬の飲み合わせには、薬と薬の飲み合わせのほかに、薬と食べ物、健康食品、サプリメントなどもあります。

**※ 複数の病院にかかる場合は、お薬手帳を利用して飲み合わせを確認しましょう！  
不明な点は医師、薬剤師などに相談して下さい。**